

柿田川生態系研究会 感染症流行下における オンライン活動の報告

自然環境グループ 研究員 澤田 みつ子
主席研究員 吉田 邦伸

1. はじめに

令和2年(2020年)1月に始まった新型コロナウイルスの世界的な流行に伴い、令和2年度の柿田川生態系研究会(以下、研究会)はオンラインに活動の場を移すこととなりました。本記事では、「コロナ時代」における約1年間の活動を報告します。

2. 社会情勢の変遷と研究会の対応

1月15日に国内で最初の感染確認、3月24日に東京五輪の延期が発表されたことを受け、研究会では3月26日、翌年度5月に予定されていた第37回研究会の会議の延期及び、同時に開催される現地視察会の中止を決定しました。

その後、1回目の緊急事態宣言(7都府県)が4月7日に、12月18日静岡県知事による年末年始における県境をまたぐ移動の自粛の呼びかけ、さらに2回目の緊急事態宣言(1都3県)が翌1月7日になされました。

その間、研究会では予定していた年間行事のほとんどについて中止・延期を余儀なくされました。

表-1 令和2年度 当初予定の年間行事

予定日	内容	対応
5/30	現地視察会 (黄瀬川・芦ノ湖)	中止
5/31	第37回 研究会	延期
通年随時	中高生対象 出前教室	募集中止
10～ 12月頃	第17回柿田川シンポジウム	年度内中止 (翌年へ延期)
1/23	第37回 研究会(延期後)	再延期
	現地視察会(柿田川)	中止
3月以降 (調整中)	第37回 研究会 ～第2回緊急事態宣言解除後に再設定を予定～	オンラインによる実施

3. 研究会 Web サイトでの動画公開準備

そのような中、研究会のWebサイト(http://www.rfc.or.jp/kakita_group.html)において、上空から撮影された柿田川の映像の公開準備を進めています。これは、柿田川研究の広報活動を目的とし、研究会代表の静岡大学加藤憲二名誉教授が国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所から映像使用の許可を受けて公開するものです。閲覧者は、Webサイト上から、ドローンで撮影された四季における上空からの柿田川の映像の閲覧ができるようになります。

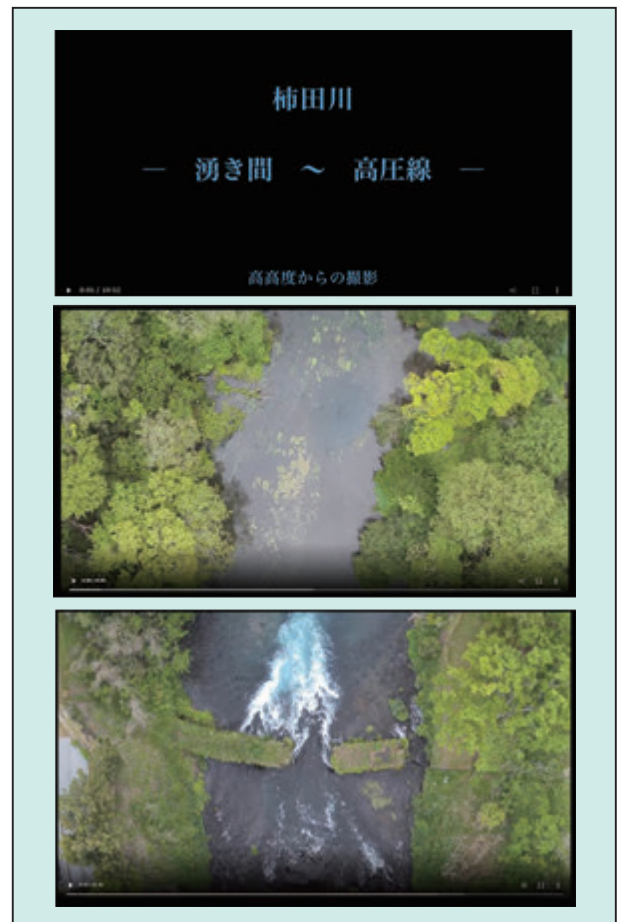


図-1 研究会Webサイトに柿田川の動画を掲載予定(再生される映像の一例:映像出典 国土交通省沼津河川国道事務所 令和元年4, 8, 12月撮影)

4. 河川生態学術研究会への会員の参加

困難な状況が続く中ででしたが、今年度から4年間、柿田川生態系研究会の会員を含む研究者が狩野川・柿田川研究グループとして河川生態学術研究会へ参加することとなりました。詳細は、狩野川・柿田川研究グループ 塚越哲代表による本誌の特集近年の研究紹介④をご覧ください。

5. 令和2年度における今後の予定

延期を重ねた第37回研究会については、2回目の緊急事態宣言の解除後に、オンライン開催を予定しています。

研究会では、今後もオンライン活用を含めた活動の実施に取り組んでいきたいと考えています。